

2026年6月24日  
富士ダイス株式会社

## 2025年度 当社取締役会の実効性評価結果の概要に関するお知らせ

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能の向上を図ることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 分析・評価の方法

当社取締役全員に対して、取締役会の実効性について、第三者機関の提供するWebプラットフォームを利用し、記名の上の段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、回答を得ました。その回答の集計結果を基に、社長及び新任取締役を対象とした個別ヒアリング、役員を数名のグループに分けグループ別にヒアリングを行った上で、取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。

質問票における大項目は、以下のとおりです。

- ① 取締役会の役割・機能について
- ② 取締役の構成について
- ③ 取締役会の運営状況について
- ④ 取締役会の議論の状況について
- ⑤ 任意の委員会について（指名・報酬委員会）
- ⑥ 役員の自己評価について
- ⑦ その他

#### 2. 分析・評価結果の概要

評価の結果、当社の取締役会の実効性については、適切に確保されているものと判断いたしました。

一方で、取締役会の実効性を更に高めていくために取り組むべき課題として、以下の表にある事項を認識し、今後の対処すべき課題であることを確認いたしました。

## 【評価結果および今後の取り組み方針】

評価項目	2025年度			2026年度	
	取り組み方針	取り組み内容	評価結果	課題認識	取り組み方針
取締役会の 役割・機能について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決裁権限の見直しや意思決定に関するフローの整備</li> <li>○ 2025年度6月以降監査等委員会設置会社へ移行</li> <li>○ デジタル情報の利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 稟議制度の見直しによる、決裁権限や意思決定に関するフローの整備を行った。</li> <li>○ 2025年度6月以降監査等委員会設置会社へ移行した。</li> <li>○ デジタル情報の利活用に関連する議案（営業活動のDX活用等）を上申し、報告の充実とともに議論の機会を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取締役会の役割・機能は果たせており、実効性が確保されていると評価された。</li> <li>○ 中長期的な経営戦略、持続的成長および企業価値創出に向けた議論は弱く、また、達成に向けた具体的な戦略や施策との連動、実施結果の原因改善の余地があるとの意見があった。</li> <li>○ 事業ポートフォリオについても、方針の明確化や資本コスト・収益性を踏まえた定期的な見直し等改善の余地があるとの意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取締役会の監督機能をより強化し、各取締役や下位の会議体等への権限の委譲を更に推し進める必要がある。</li> <li>○ 経営に関する課題解決に必要な情報をより可視化する必要がある。</li> <li>○ 可視化された情報を元に、分析の切り口や会議資料の整備を含め、より踏み込んだ戦略的かつ自由闊達な議論の場を設ける必要性が強く認識されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決裁権限の見直しや意思決定に関するフローの整備を行う。</li> <li>○ 営業活動のDX活用やワークフローシステムの利用拡大による業務効率化の推進とともに、情報の可視化を行う。</li> </ul>
取締役会の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スキル・マトリックス及びサクセッションプランの継続した更新、実施を行い、役員候補者、幹部社員の経験や専門性を確保する。</li> <li>○ 管理職・採用者の女性比率向上、女性社員の成長機会の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スキル・マトリックスの改定、サクセッションプランの立案、実施をした。</li> <li>○ 女性活躍推進法に対する中間結果報告を2026年6月に実施予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取締役会の構成については人数、取締役の能力など概ね適切であると評価された。</li> <li>○ 社外役員の後継者対策が十分ではないとの意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社内の役員候補者や幹部社員の継続した登用、育成が必要である。</li> <li>○ 社外役員候補者選定や、中長期的な世代交代のための後継者計画の立案・実施が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スキル・マトリックス及びサクセッションプランの継続した更新、実施を行い、役員候補者、幹部社員の経験や専門性を確保する。</li> <li>○ 社外役員の後継者計画を立案、実施する。</li> </ul>
取締役会の 運営・議論の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議資料のガイドライン制定や事務局による事前の審査等、改善施策を検討する。</li> <li>○ 議題・案件毎の審議時間の集計を行い可視化し、年間の審議時間のバランスを分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 招集通知や、会議資料に添付するサマリーを新たにフォーマットし、役員に提供する会議情報の質向上を実施した。</li> <li>○ 審議時間の集計、分析を行い、執行・監督機能のバランスを可視化した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取締役会の開催頻度や審議時間、活発な議論の場の醸成など概ね適切に運営、議論されていると評価された。</li> <li>○ 会議資料や説明の質、時間効率の向上をするとともに、重要な経営課題に関する議案の議論の質向上、十分な時間の確保を求める意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取締役会だけではなく、取締役が出席する会議体や各種委員会の会議資料及び議論の質や時間効率を向上させ、重要な経営課題に関する議案の自由闊達な議論の場と十分な審議時間を確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議資料作成者や説明者に向けたガイドラインの制定等の改善施策を検討する。</li> <li>○ 審議時間の集計を行い、執行・監督機能のバランスの変化等を分析する。</li> </ul>
任意の委員会について (指名・報酬委員会) 役員自己評価 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実効性評価に関するアンケート項目やヒアリング実施方法のメンテナンスを実施する。</li> <li>○ 役員トレーニングの需要を調査し、教育研修計画に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指名・報酬委員会に関するアンケート項目を追加した。</li> <li>○ 役員を対象とした研修（経営リテラシー研修）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指名・報酬委員会は、概ね適切に運営されていると評価された。</li> <li>○ 実効性評価のアンケート内容は十分な内容を網羅していると評価を受けたが、今後もアンケート項目やヒアリングの実施方法はメンテナンスするよう提案を受けた。</li> <li>○ 役員を対象としたトレーニング機会を充実させるよう意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実効性評価全体を通して形骸化しないよう継続したメンテナンス・実施方法の改善が必要である。</li> <li>○ 役員ニーズを捉え、それに応じたトレーニング制度の整備が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実効性評価に関するアンケート項目やヒアリング実施方法のメンテナンスを実施する。</li> <li>○ 役員トレーニングの需要を調査し、教育研修計画に反映させる。</li> </ul>

### 3. 今後の対応

以上、当社取締役会は、評価結果によって浮かび上がった課題や各取締役からの提言・意見を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けて様々な取組みを実施してまいります。

当社は、取締役会の更なる機能向上を図るべく、今後も年1回、継続的に取締役会の実効性評価を行ってまいります。

以上